

最近の経済動向

平成30年4月号

北海道の景気動向(平成30年2月の経済指標を中心として)

持ち直している

■ 鉱工業生産動向

- P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
一部に弱さがあるが、持ち直しの動きがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

- P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
専門量販店販売額、新車登録台数)
回復しつつある

- P 3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減少している

- P 4 公共工事(公共工事請負金額)
減少している

- P 4 観光(来道者数)
改善が進んでいる

- P 5 輸出入(輸出入額)
輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

■ 企業倒産

- P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■ 雇用動向

- P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

- P 8 企業経営者意識調査
前期から下降している

■ 企業情報

- P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

- P 11 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

- P 17 北海道の景気動向指数

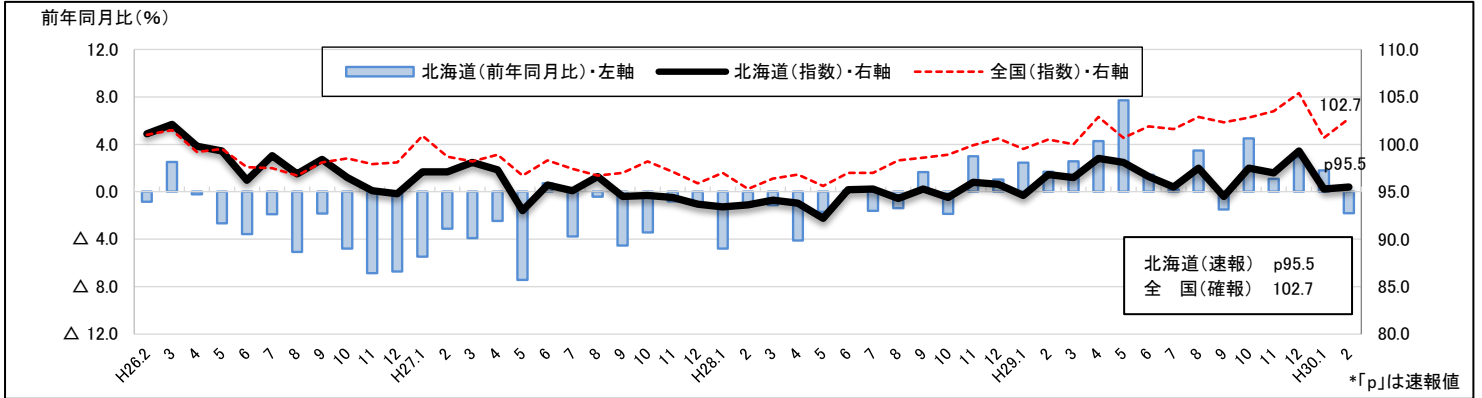
■生産活動～一部に弱さがあるが、持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産指数（2月）

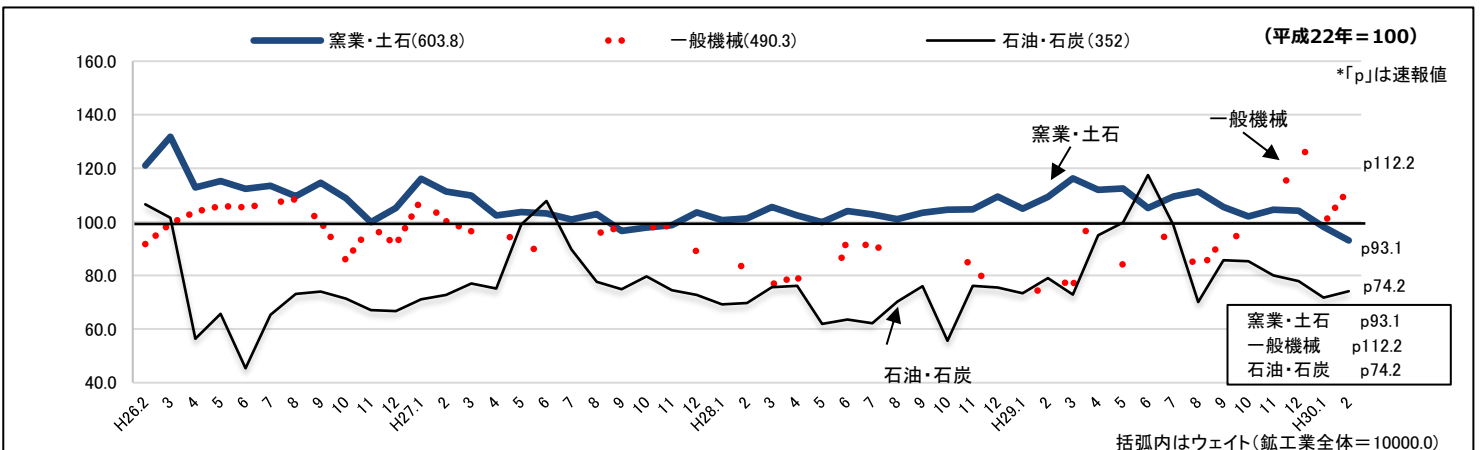
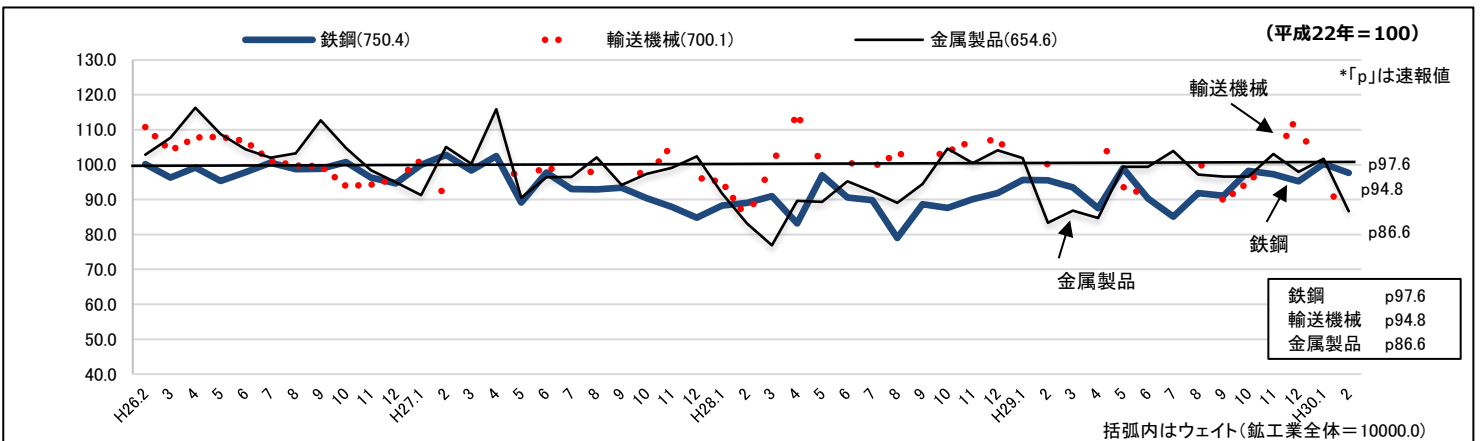
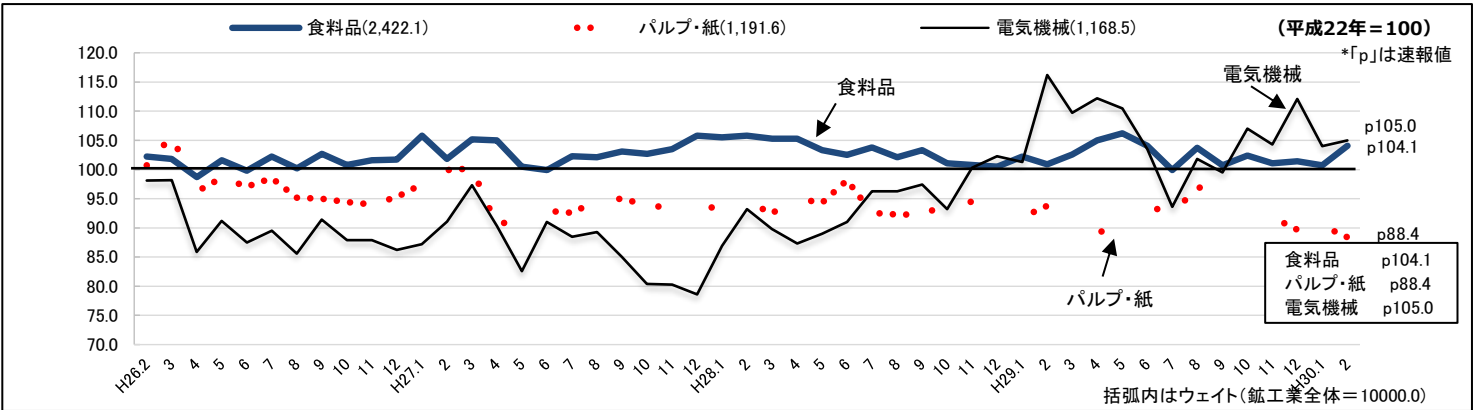
鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.5で前月比+0.2%(2ヶ月ぶりの上昇)であり、前年同月比は、▲1.8%(5ヶ月ぶりの低下)となった。業種別にみると、一般機械工業等7業種が前月比上昇、化学工業等の9業種が前月比低下となった。

鉱工業生産指数(季節調整済指数)

(平成22年=100)



主な業種の生産指数(季節調整済指数)



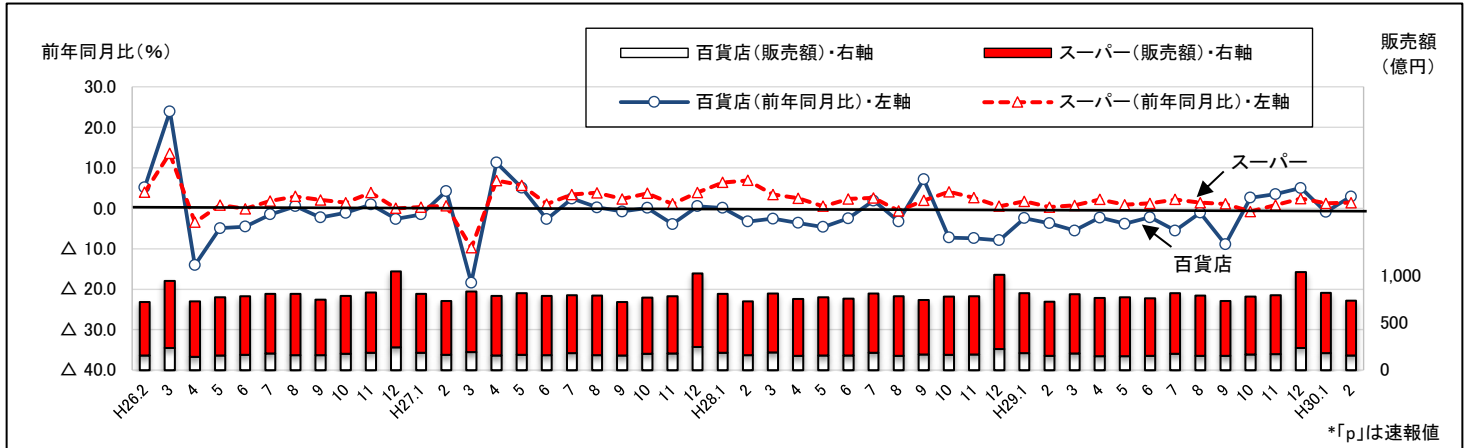
(資料：北海道経済産業局)

■個人消費～回復しつつある

百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(2月)

- ・百貨店の販売額は、157億円で前年同月比2.9%の増加となり、2ヶ月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、衣料品、飲食料品は前年を下回ったものの、身の回り品、その他は前年を上回った。
- ・スーパーの販売額は、581億円で同1.4%の増加となり、4ヶ月連続で前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、その他は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額と前年同月比【全店ベース】

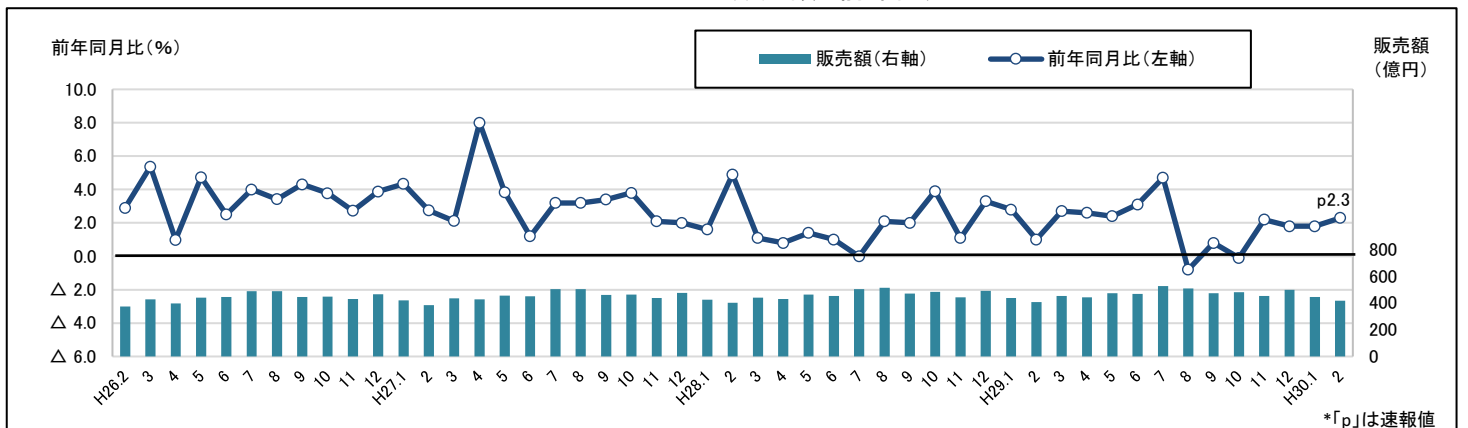


(資料：北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額(全店)(2月)

- ・コンビニエンスストア販売額は、416億円で前年同月比2.3%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額と前年同月比

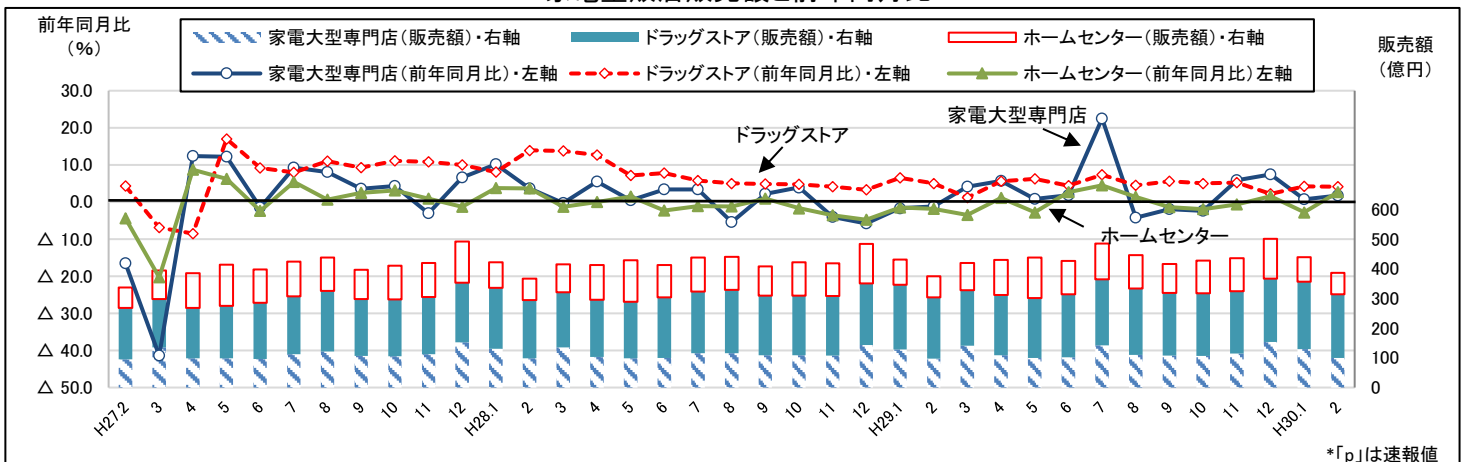


(資料：北海道経済産業局)

専門量販店販売額(2月)

- ・ドラッグストア販売額は、214億円で前年同月比4.1%の増加となり、34か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンター販売額は、73億円で同2.7%の増加となり、2ヶ月ぶりに前年を上回った。
- ・家電大型専門店販売額は、99億円で同1.7%の増加となり、4ヶ月連続で前年を上回った。

家電量販店販売額と前年同月比

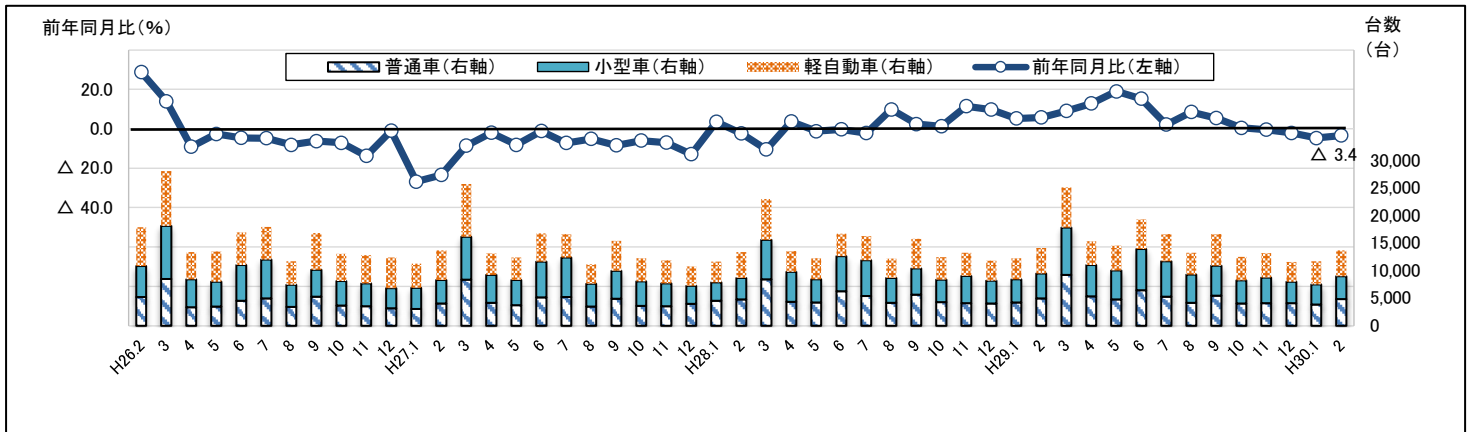


(資料：北海道経済産業局)

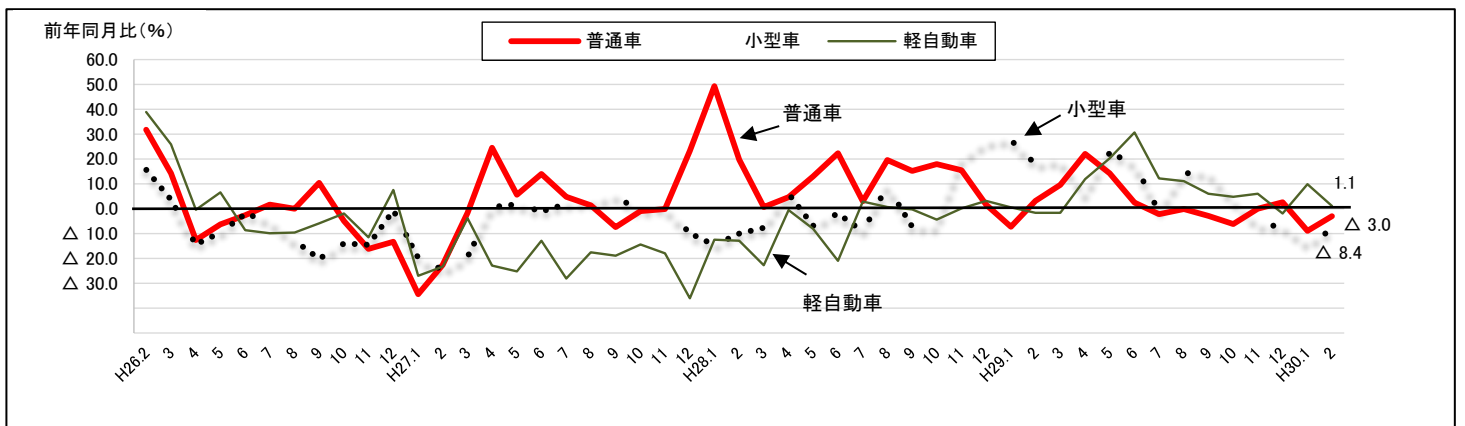
新車登録台数（2月）

新車登録台数は、13,638台で前年同月比3.4%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は、4,812台で同3.0%の減少、小型車は、4,137台で同8.4%の減少、軽自動車は、4,689台で同1.1%の増加となった。

新車販売台数と前年同月比



車種別販売台数の前年同月比



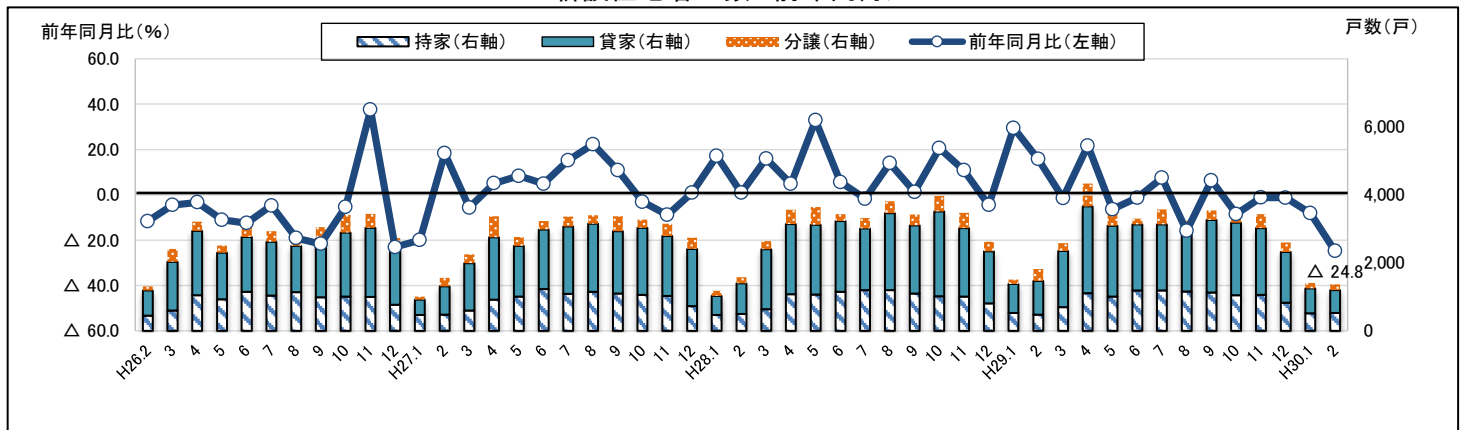
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

住宅建設～減少している

新設住宅着工戸数（2月）

住宅着工戸数は、1,373戸で前年同月比24.8%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、貸家は、664戸で同33.3%の減少、持家は、531戸で同11.6%の増加、分譲住宅は、176戸で同49.4%の減少となった。

新設住宅着工数と前年同月比



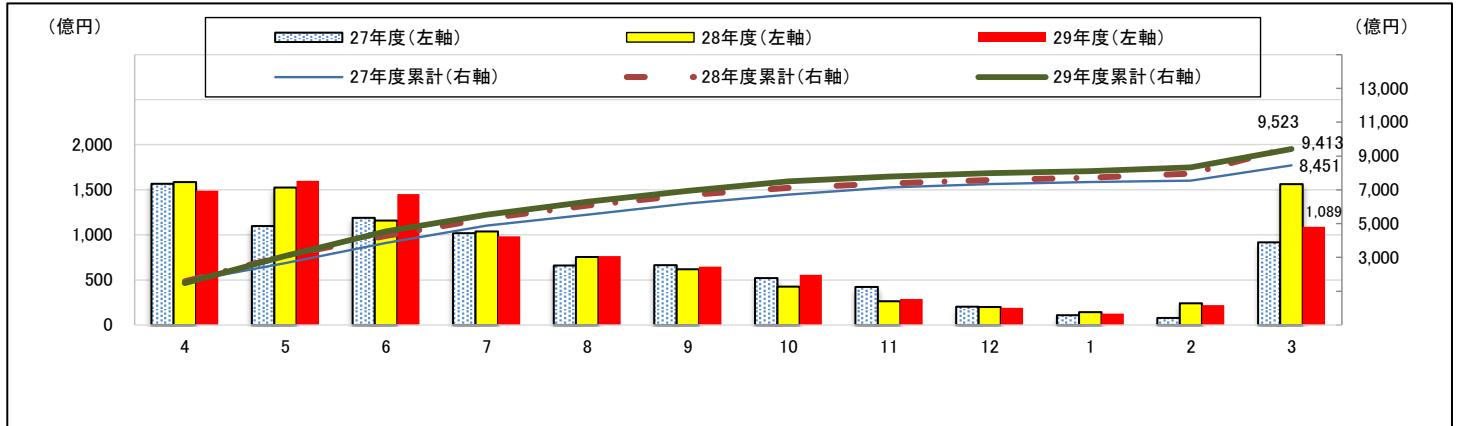
(資料：国土交通省住宅局)

■公共工事～減少している

公共工事請負金額（3月）

請負金額は、1089億円で前年同月比30.3%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。工事目的別にみると、農林・水産が448億円（全体の41.2%）、産業基盤が248億円（同22.8%）、治山・治水が200億円（同18.4%）、生活基盤が158億円（同14.5%）、その他が33億円（同3.1%）となっている。

公共工事請負金額



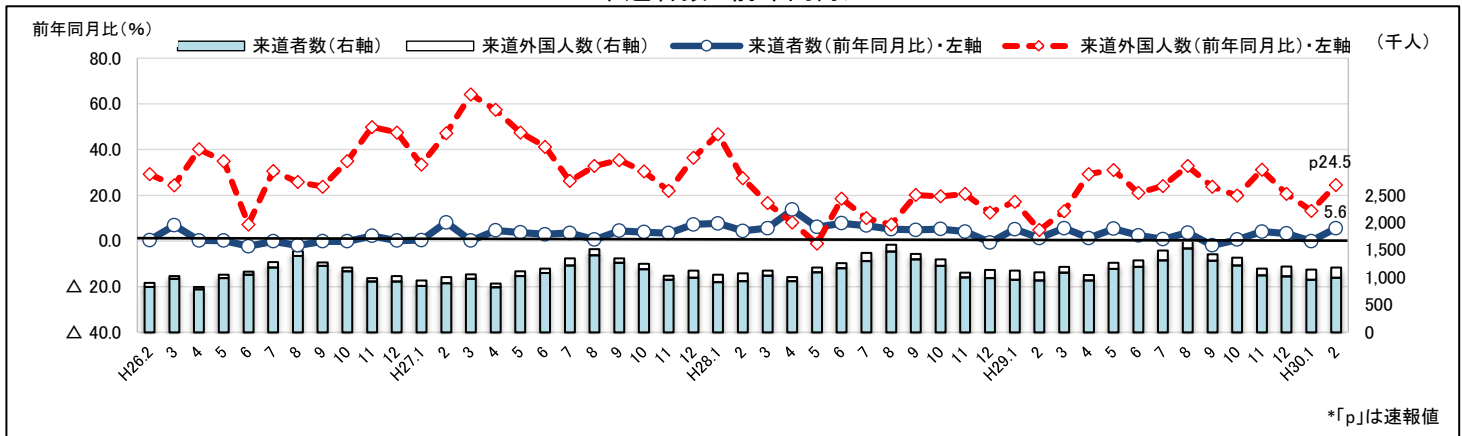
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

■観 光～改善が進んでいる

来道者数（2月）

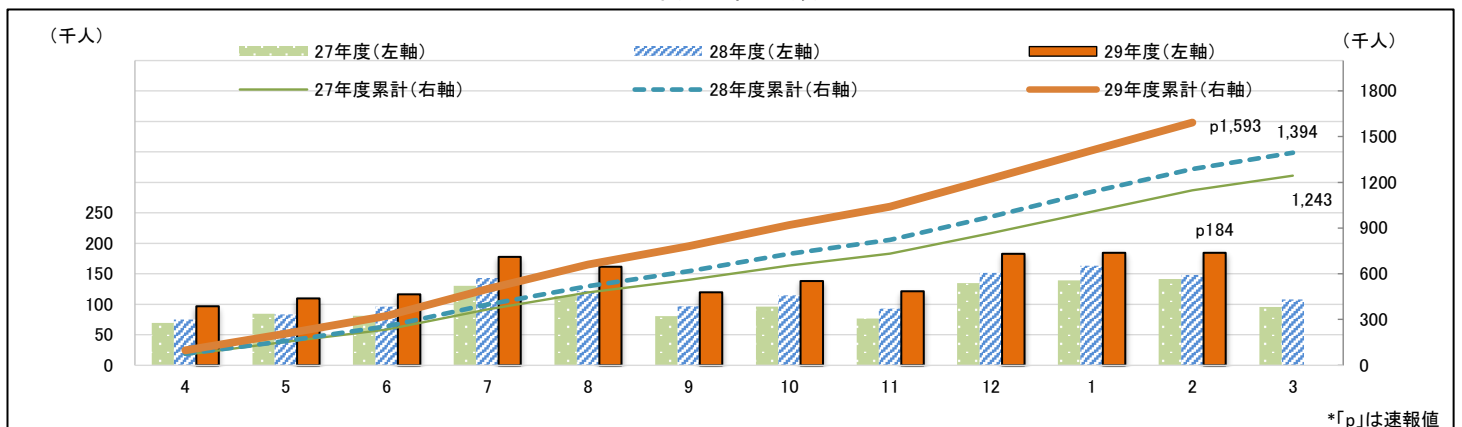
来道者数は、100万人で前年同月比5.6%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、18万4千人で同24.5%の増加となり、21か月連続で前年を上回った。

来道者数と前年同月比



(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



(資料：法務省入国管理局)

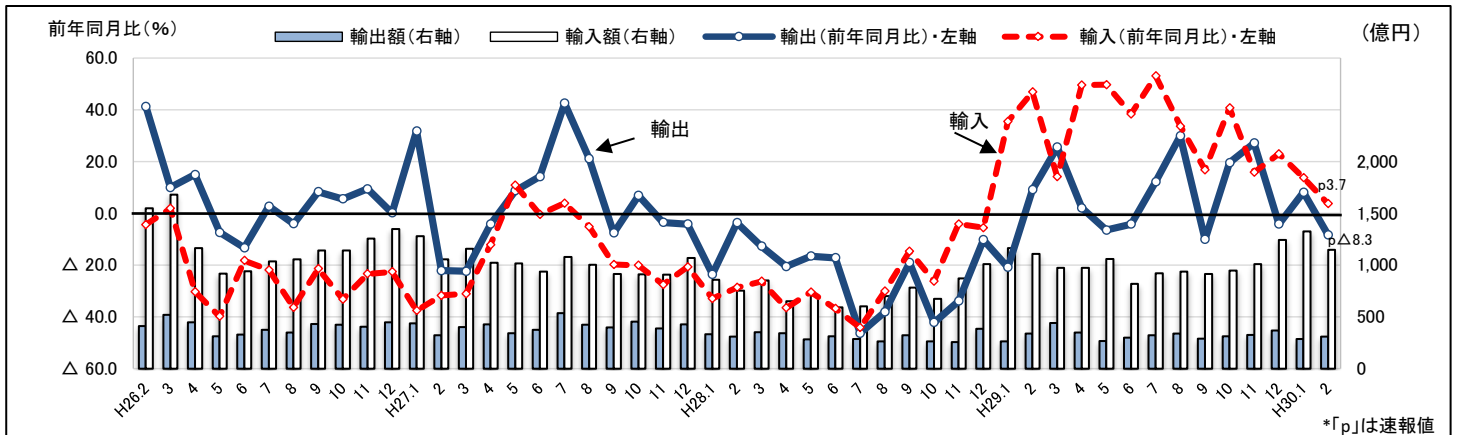
輸出入～輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

輸出入額（2月）

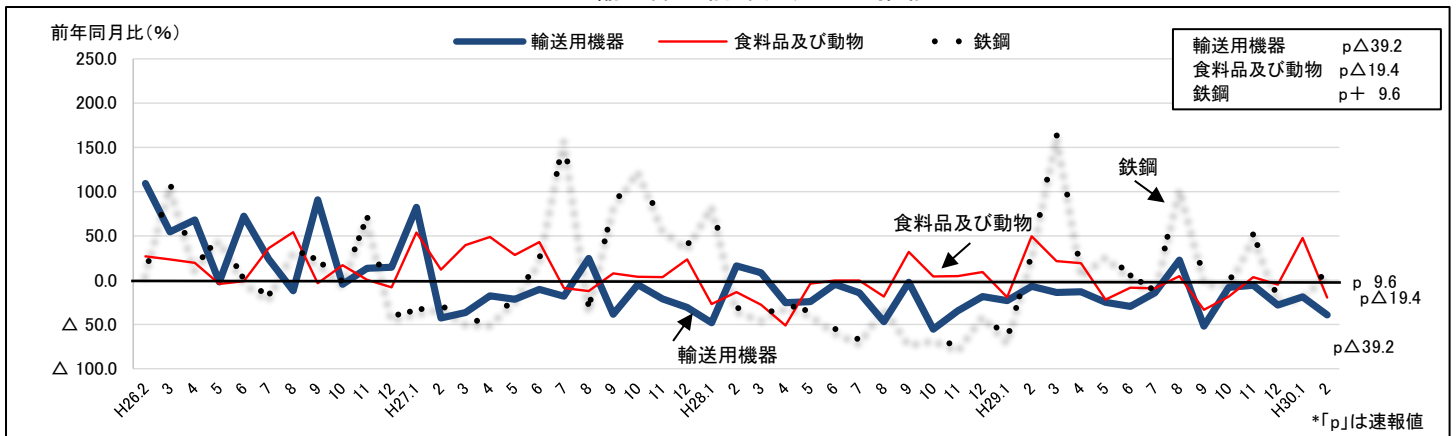
・輸出額は、310億円で前年同月比8.3%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。
品目別にみると、鉱物性タール・粗製薬品、鉄鋼くずなどが増加したものの、船舶、有機化合物、自動車の部分品などが減少となった。

・輸入額は、1,149億円で同3.7%の増加となり、14か月連続で前年を上回った。
品目別にみると、原油・粗油、ウッドチップなどが減少したものの、石油製品、肥料、一般機械などが増加となった。

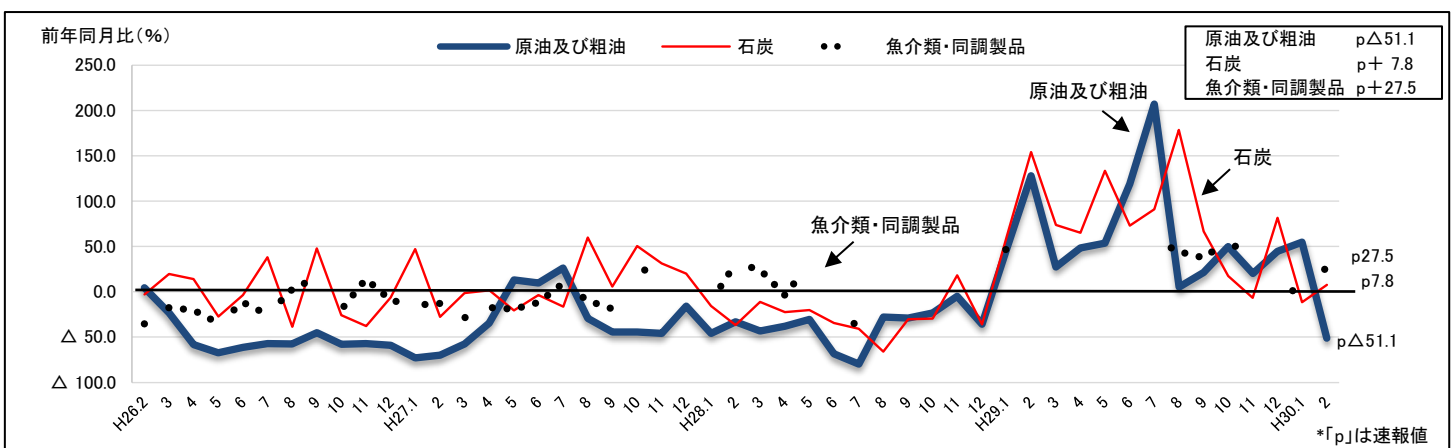
輸出入額と前年同月比



主な輸出品の前年同月比の推移



主な輸入品の前年同月比の推移



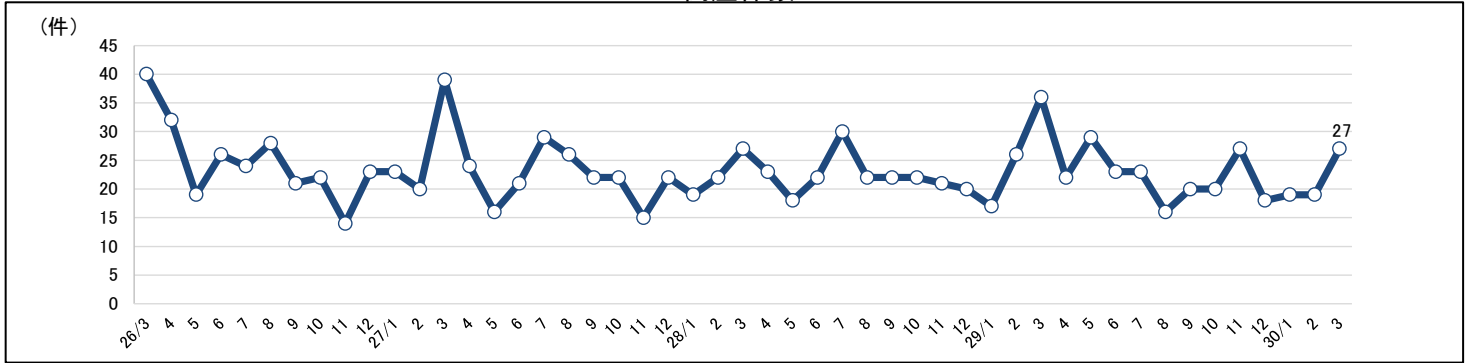
■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

企業倒産（3月）

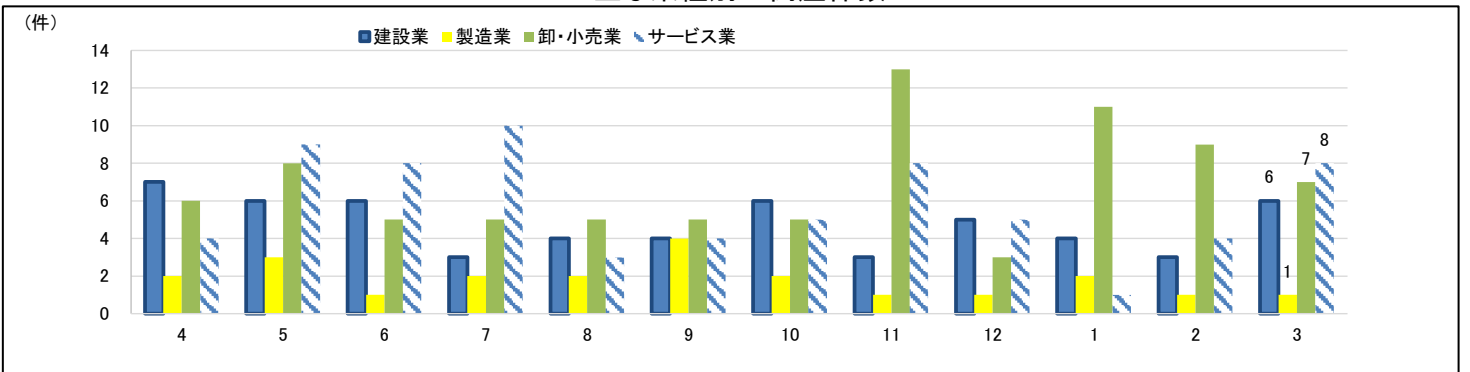
企業倒産件数は、27件で前年同月比25.0%の減少となり、2か月連続で前年を下回り、負債総額は、40億円で同18.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

原因別でみると、販売不振が19件（70.4%）と大部分を占め、業種別では、サービス・他が8件（29.6%）で最多となり、建設業、小売業が各6件（各22.2%）と続いた。

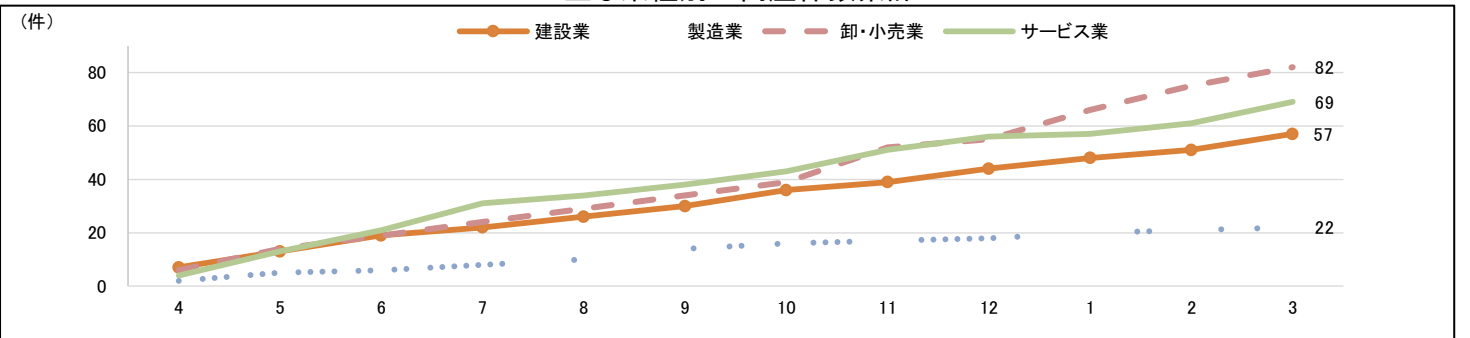
倒産件数



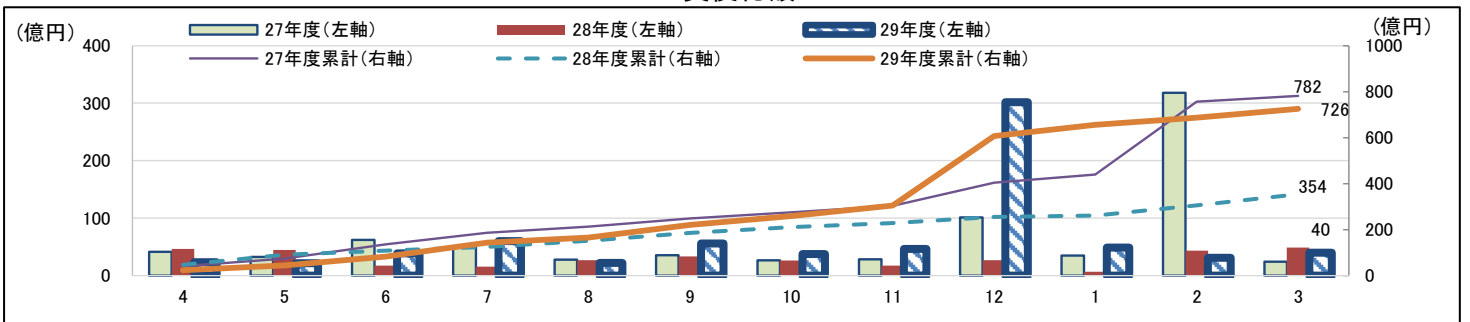
主な業種別の倒産件数



主な業種別の倒産件数累計



負債総額



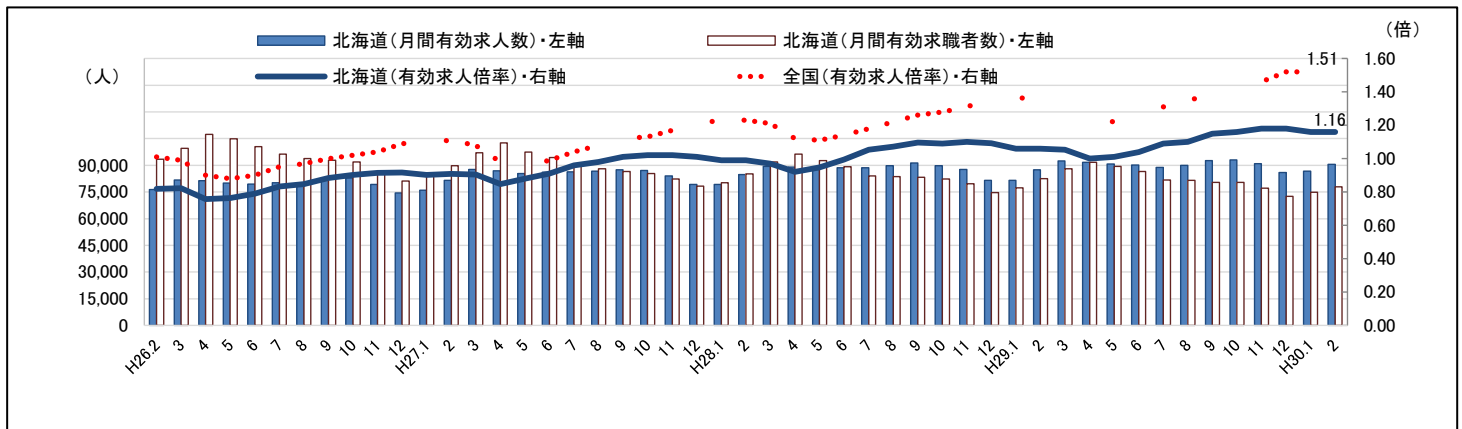
(資料：(株)東京商工リサーチ)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（2月）

月間有効求人数は、9万441人で前年同月比3.4%の増加となり、97か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、7万7,910人で同5.6%の減少となり、76か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.16倍で前年同月差で0.10ポイントの増加となり、97か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)・求人数・求職者



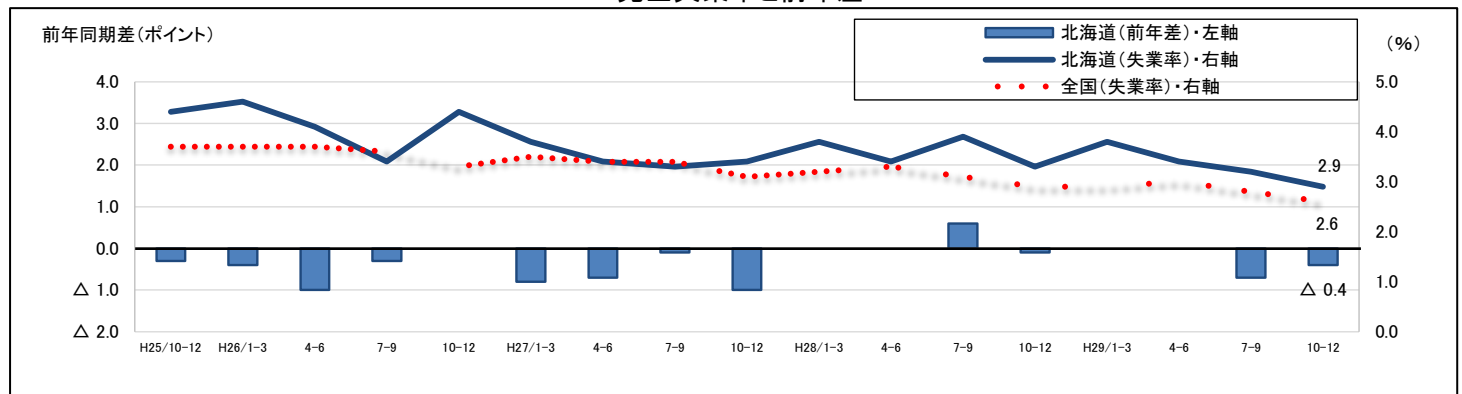
(資料:厚生労働省及び北海道労働局調)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(29年10-12月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、1万人減少となっている。
 完全失業率は、2.9%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

完全失業率と前年差



(資料:厚生労働省及び北海道労働局調)

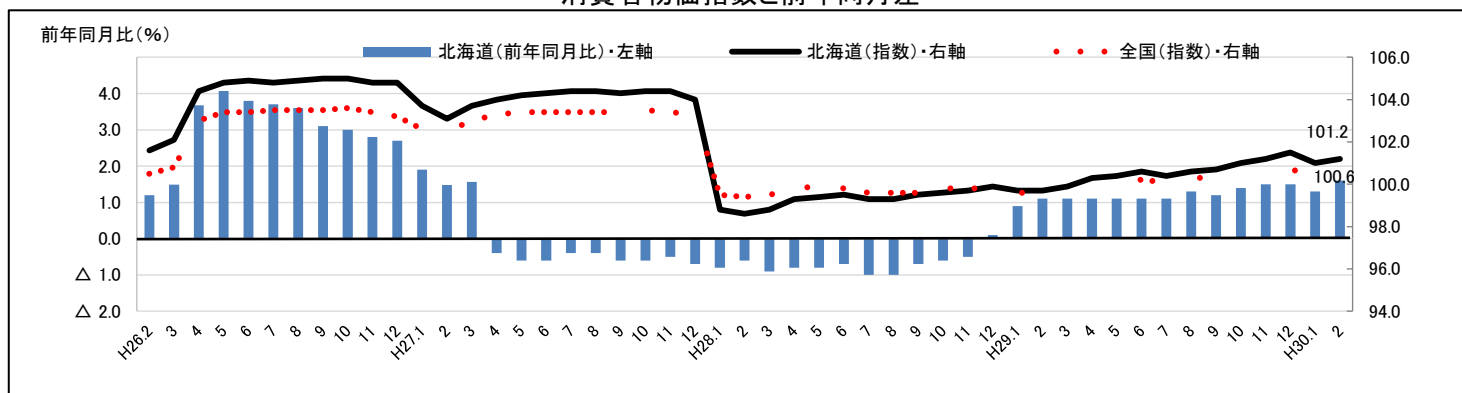
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(2月)

消費者物価指数は、101.2で前年同月と比べ1.6%の上昇となり、15か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数と前年同月差

(平成27年=100)



(資料:総務省)

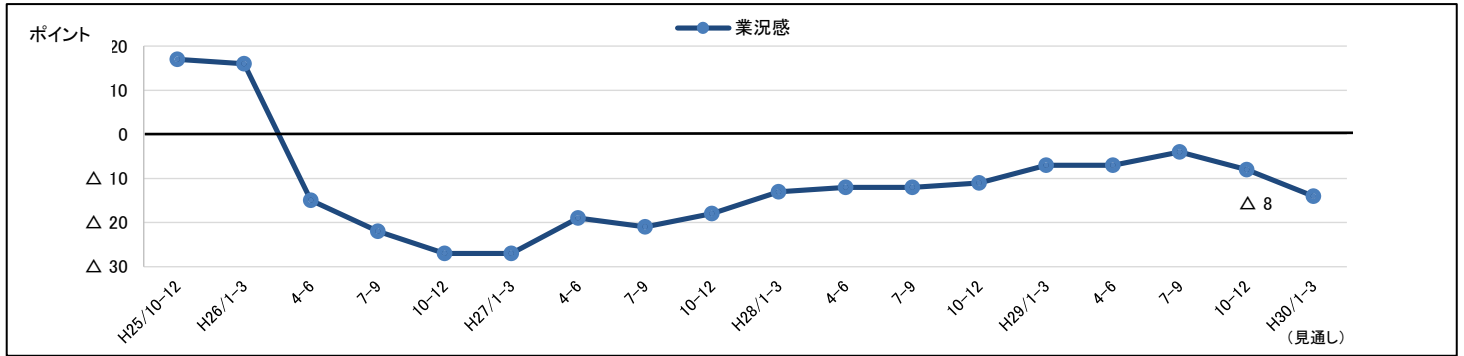
■企業の業況感

企業経営者意識調査（29年10-12月期）

今期の業況感BSIは、△8で前期から4ポイント下降した。

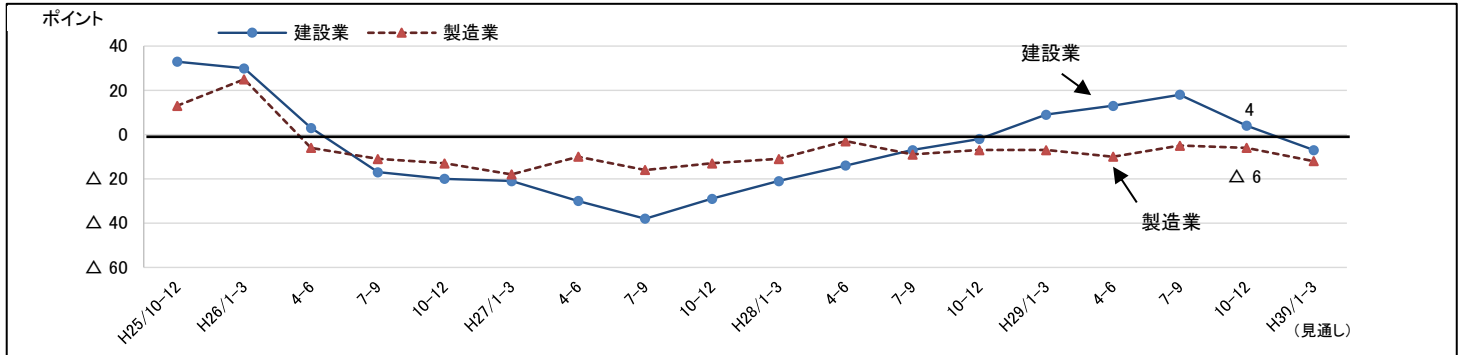
- ・業種別では、運輸業で上昇、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業で下降した。
- ・地域別では、道北で上昇、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室で下降した。

企業の業況感の推移



(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(資料:北海道)

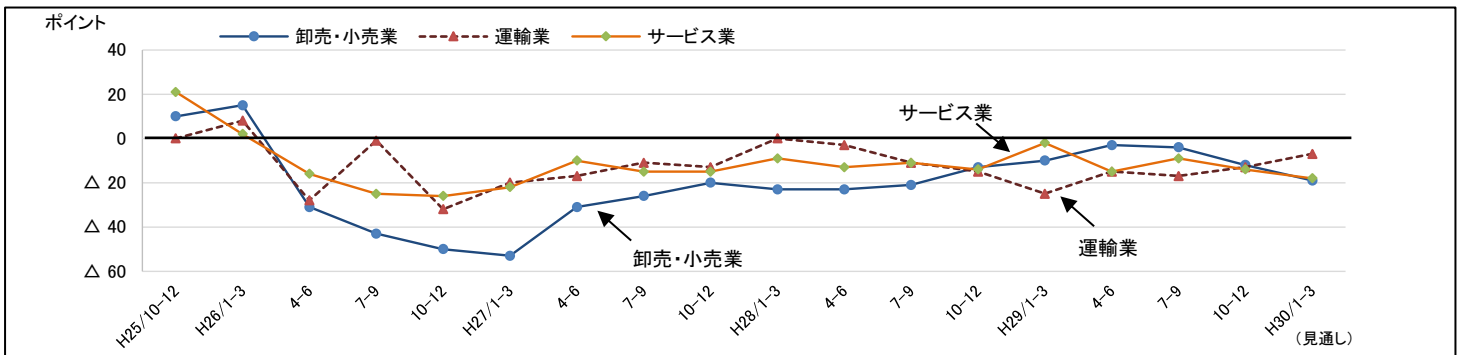
【建設業】 14ポイント下降（前期 + 18 → 今期 + 4）

- ・土木工事業や建築工事業でマイナスに転換
- ・配管などの設備工事を行う管工事業や舗装工事業でプラス幅が縮小

【製造業】 1ポイント下降（前期 △ 5 → 今期 △ 6）

- ・半導体や液晶などの電子デバイス製造業や自動車・同附属品製造業でプラス幅が拡大
- ・食品機械製造などの生産用機械器具製造業や窯業・土石製品製造業でプラス幅が縮小

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(資料:北海道)

【卸売・小売業】 8ポイント下降（前期 △ 4 → 今期 △ 12）

- ・食肉卸売業や織物・衣服・身の回り品小売業でマイナス幅が拡大
- ・金属加工機械などの産業機械器具卸売業や鉄鋼製品卸売業でプラス幅が縮小

【運輸業】 4ポイント上昇（前期 △ 17 → 今期 △ 13）

- ・一般貨物自動車運送業でプラス幅が拡大
- ・沿海海運業や冷蔵倉庫業でマイナス幅が拡大

【サービス業】 5ポイント下降（前期 △ 9 → 今期 △ 14）

- ・食堂・レストランなどの飲食店や情報処理・提供サービス業でマイナス幅が拡大
- ・旅館・ホテル業でマイナスに転換

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【依然好調なインバウンドの動き】

3月は、「ファッションアイテムは必要になってから購入する。」という、消費者の購買行動が年々強くなっていることから、気温の低い前半は春物の動きが伸び悩むこととなった。気温が高くなった後半にはファッションアイテムにも動きがでてきたが、前半のマイナスを取り戻すには至らなかった。

一方、依然としてインバウンドの消費意欲が旺盛で、特選ブティック、高級時計及び国産化粧品が好調であったことから、全体として売上、客単価ともに前年同月を上回った。

インバウンドへの対応を強化するため、免税カウンターの環境整備などに取り組んでいる。

◆スーパー（道央地域）

【悪天候に影響を受けるも売上は前年並みを維持】

3月は、1日から2日にかけての記録的な暴風雪や中旬の悪天候などの影響により、来店客数が若干減少したものの、前年と比べて土曜日が1日多く、客単価も上昇したことで、前年並みの売上を維持することができた。

ひな祭りやホワイトデーなどのイベントがあったものの、お菓子などの売れ行きに大きな動きはなかった。ただ、ひな祭り前には手巻き寿司などのネタセットの売れ行きが良かったほか、テレビ放送で健康に良い効果があると紹介された食材の売上が好調となった。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【客数は減少したが売上は前年を上回る】

3月は、前半は大雪や大雨など天候の不順により苦戦したが、下旬は平年よりも高温で推移したこともあり、持ち直すことができた。来店客数は前年より若干減少したものの、総菜や弁当、非加熱式タバコが好調だったことから売上は前年を上回る結果となった。

【観光地の外国人観光客の売上が堅調】

ニセコ地域など外国人観光客が多く訪れる地域では、アジア系の富裕層の客層が増加したことにより、客単価が増加し堅調に推移した。

◆食料品製造販売業（道央地域）

【業績は堅調に推移】

事業別にみると、宅配事業が前年を下回るものの、量販店向けの家庭用商品の販売が好調だったことから、全体としてはほぼ堅調に推移している。

健康への関心の高まりで、機能性食品や大人向け粉ミルクなど新商品の売れ行きが好調であり、今後も「健康・栄養」の分野に注力していきたい。

【働き方改革への積極的な取組み】

労働生産性を高めるため、業務量そのものを減らす活動を実施しているほか、時間外勤務の縮減、有給休暇の取得奨励や効果があった事例の拡充に取り組んでいる。また、今春から在宅勤務制度を開始する予定である。

◆ソフトウェア業(道央地域)

【売上は微増】

技術者の不足などにより受注を受けられない場合があったが、流通系、電力系及び交通インフラ系などの分野での受注が増えていることから、売上は前年と比べて微増となった。

【技術者の人員確保が課題】

技術者については、ここ数年、毎年10名程度の人員確保を目指し、中途採用の募集もしているが1名しか人員を確保できていない状況にある。特に首都圏においては、IT人材不足は顕著で、道内人材の流出が懸念される。

◆小売業・ドラッグストア(道央地域)

【化粧品の売上が好調】

3月は、引き続き、化粧品が好調で、売上は前年同月を上回った。改装した店舗の売上が伸びたことや平均客単価が地元客の約5倍の外国人客による売上が影響している。

【店舗数の拡大による増益見込み】

M&Aによる店舗数の拡大と新薬の処方効果で売上は伸びている。
4月の調剤報酬改定により、処方箋単価が下がり、利益が一時的に圧迫されるが、さらなるM&Aによる店舗数の拡大が進む。

◆小売業・ホームセンター(道央地域)

【最近の売上状況】

2月～3月上旬は、降雪量が多かったため、除雪用品、防寒具などの売れ行きがよかった。3月中旬から自転車、カー用品などが売れ始めた。

【懸念要因】

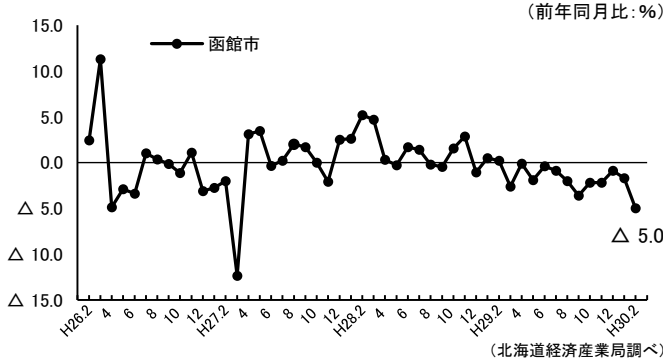
ホームセンターの性格上、郊外の店舗が多いことから、都市部などは、高齢化に伴い、立地面の良い小売業との競合が激しい。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

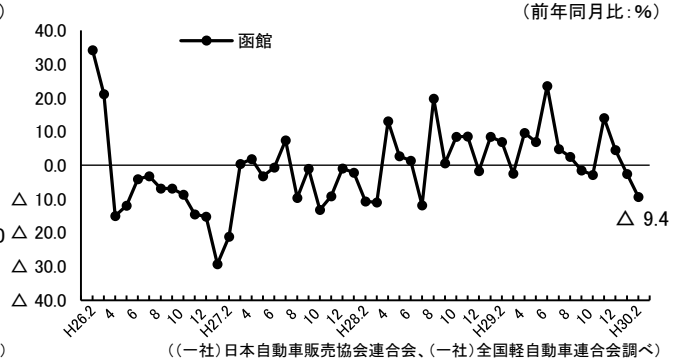
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(2月)

12か月連続で前年を下回った



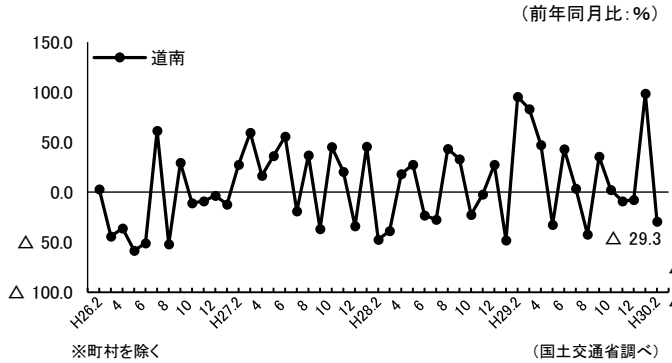
◆新車登録台数(乗用車)(2月)

2か月連続で前年を下回った



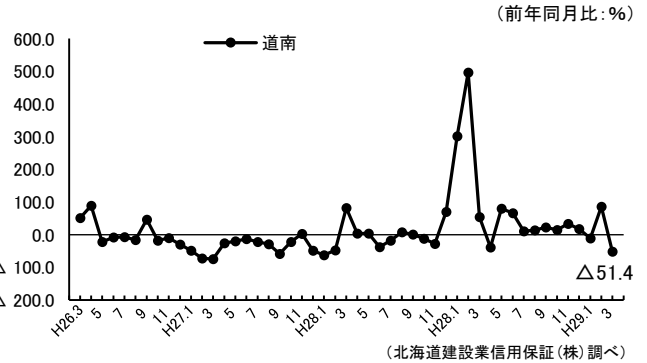
◆新設住宅着工戸数(2月)

2か月ぶりに前年を下回った



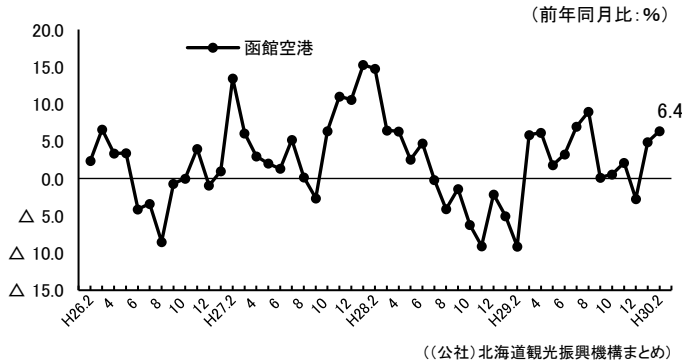
◆公共工事請負金額(3月)

2か月ぶりに前年を下回った



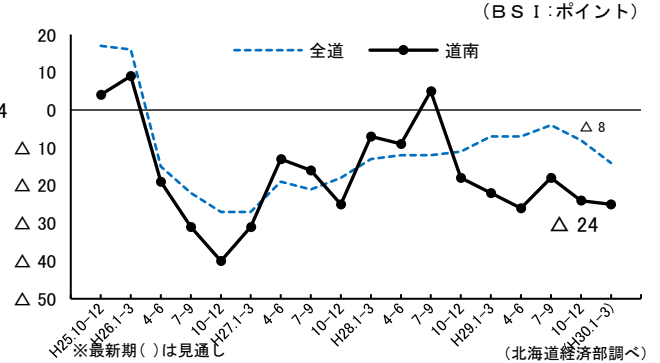
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)

2か月連続で前年を上回った



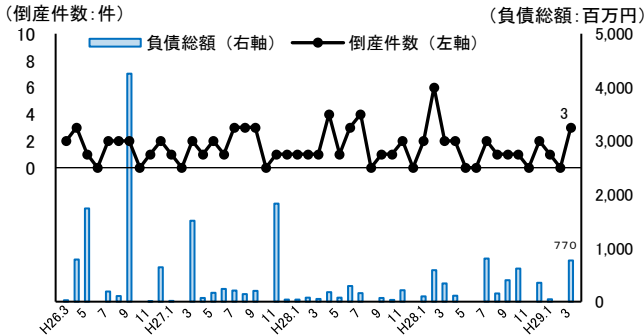
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が拡大した



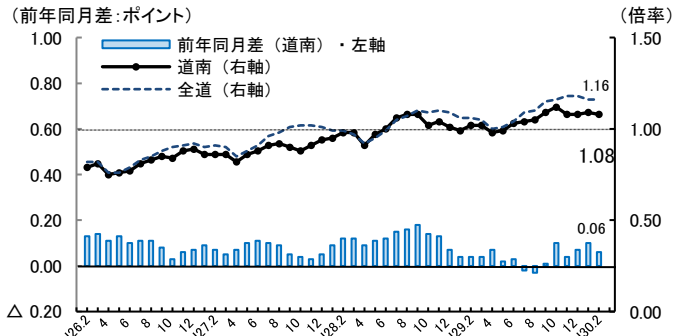
◆企業倒産件数・負債総額(3月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(2月)

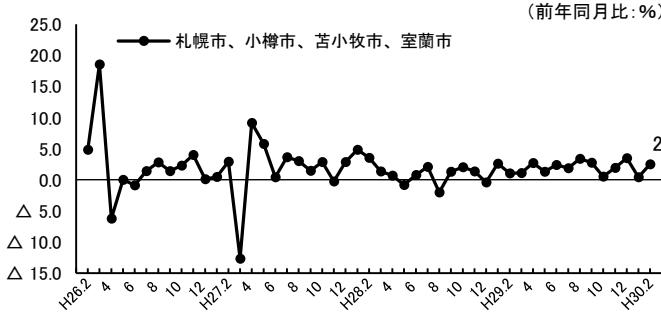
6か月連続で前年を上回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(2月)

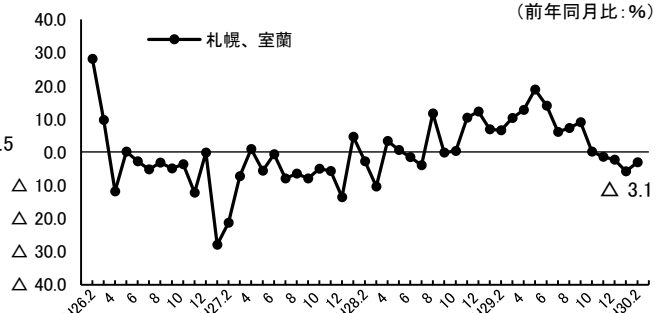
14か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)

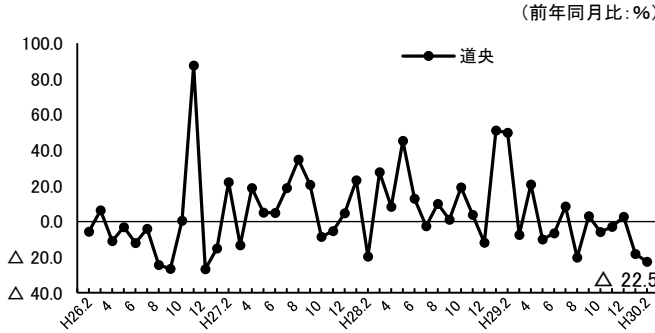
4か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(2月)

2か月連続で前年を下回った

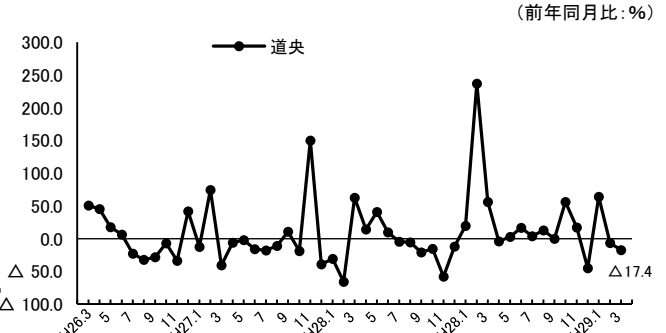


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)

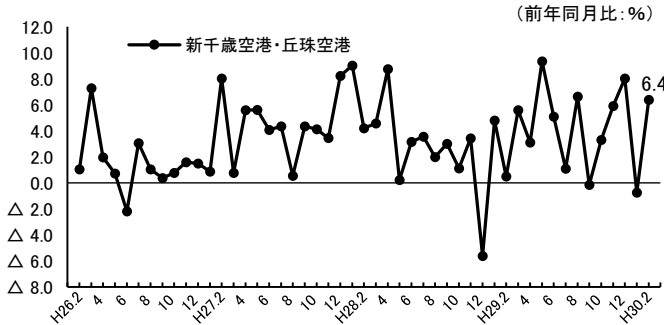
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)

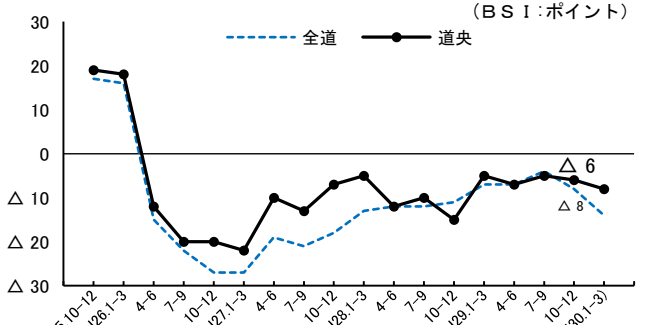
2か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)

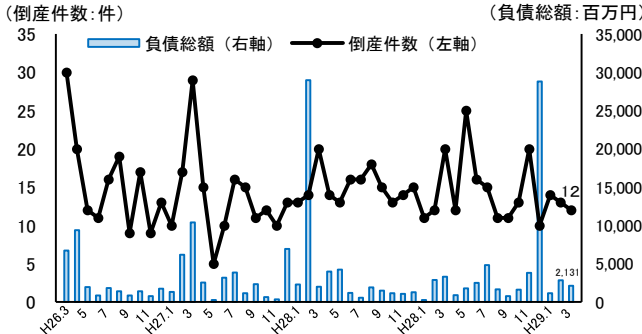
前期からマイナス幅が拡大した



(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)

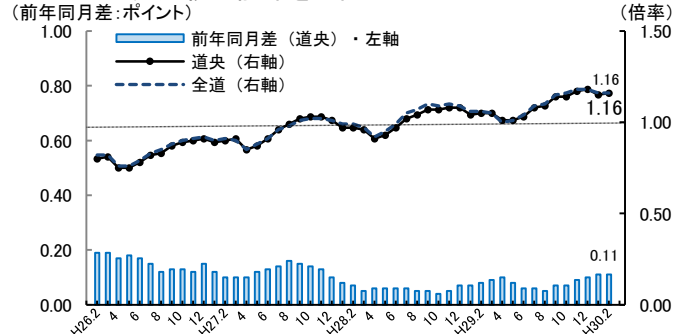
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率(常用)(2月)

96か月連続で前年を上回った

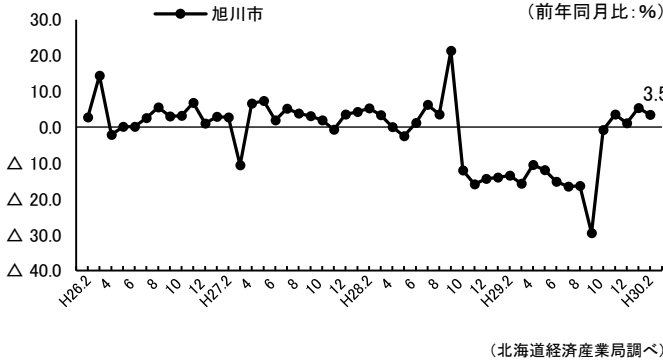


(北海道労働局調べ)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

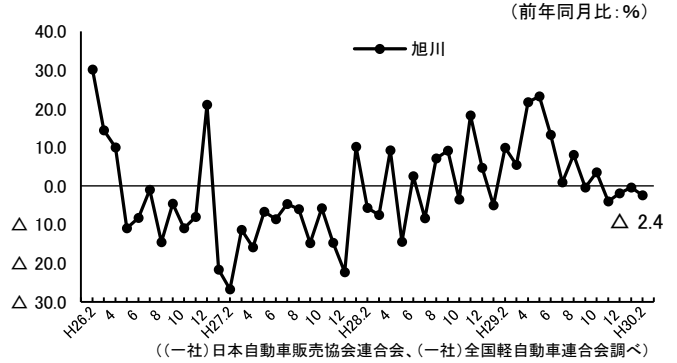
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(2月)

4か月連続で前年を上回った



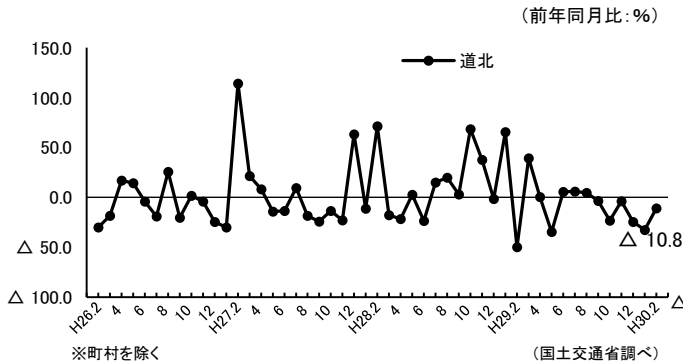
◆新車登録台数(乗用車)(2月)

4か月連続で前年を下回った



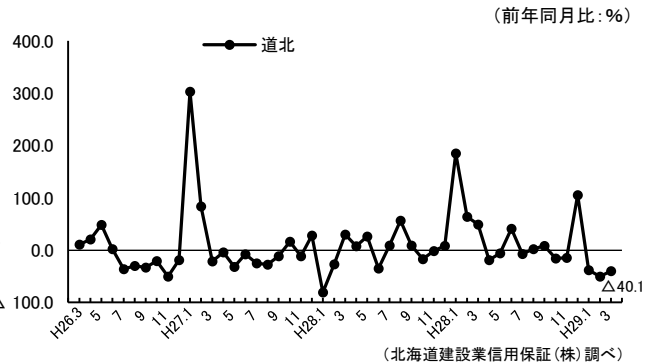
◆新設住宅着工戸数(2月)

6か月連続で前年を下回った



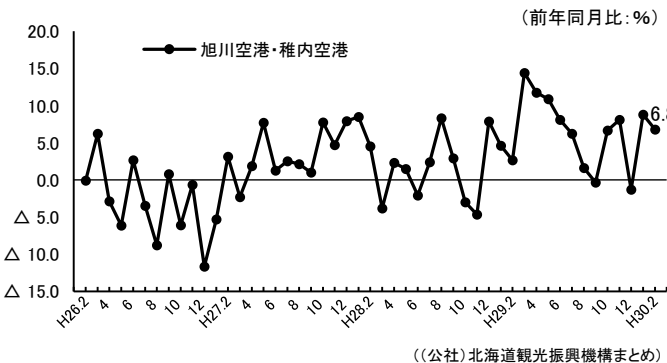
◆公共工事請負金額(3月)

3か月連続で前年を下回った



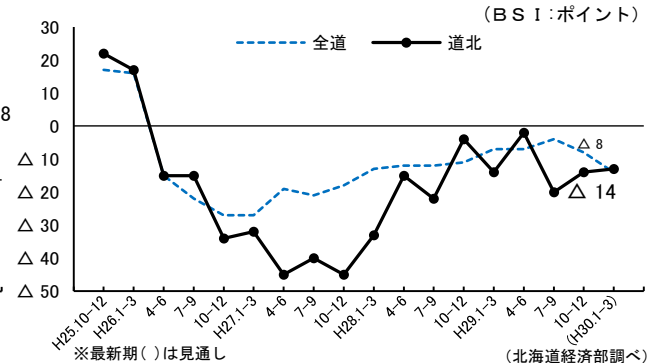
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)

2か月連続で前年を上回った



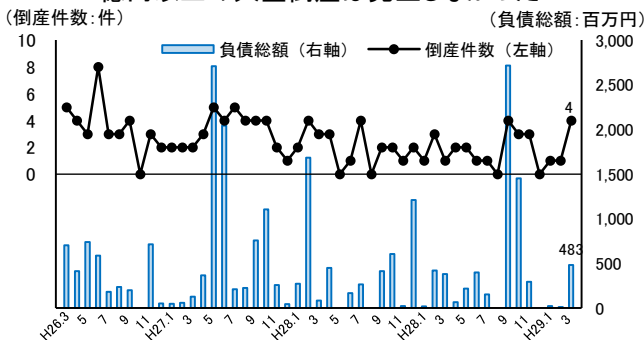
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が縮小した



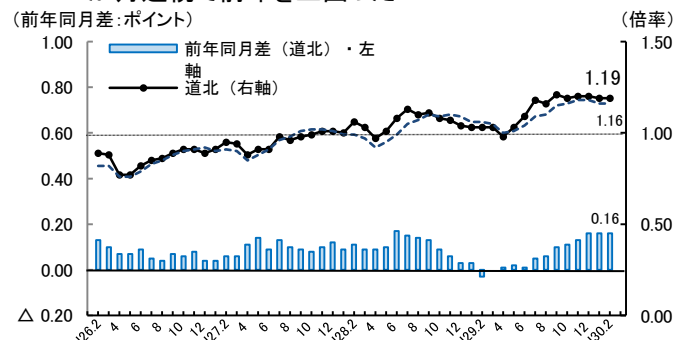
◆企業倒産件数・負債総額(3月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(2月)

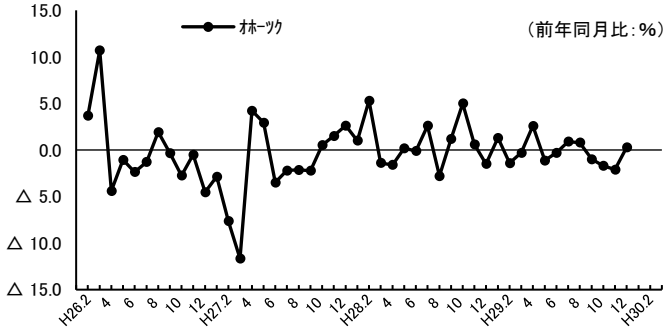
11か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

4か月ぶりに前年を上回った

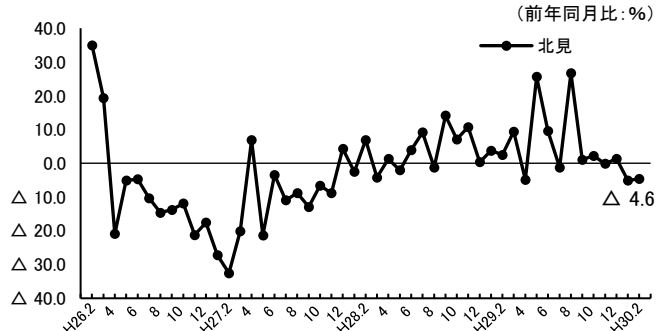


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)

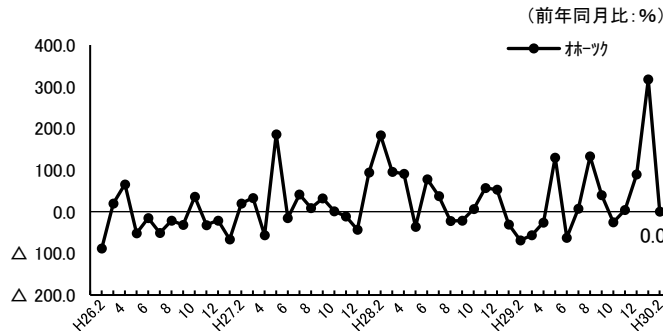
2か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(2月)

前年と同数だった

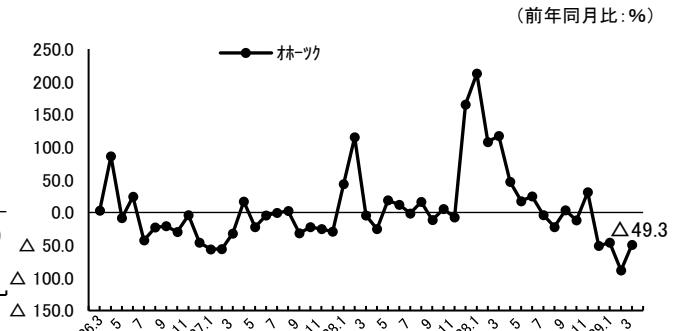


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)

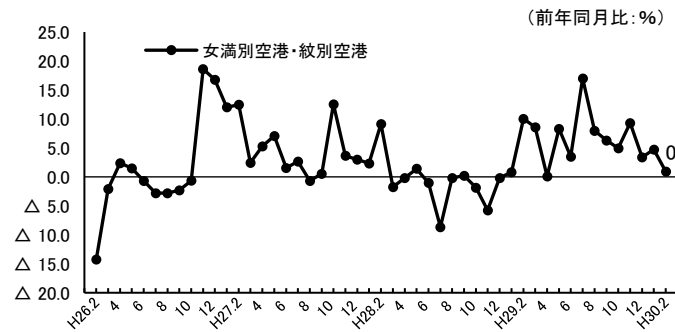
4か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)

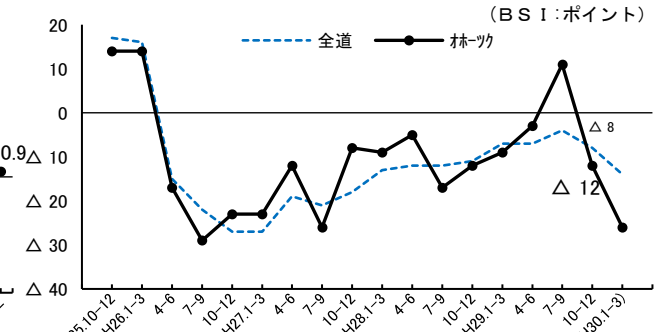
14か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)

今期はマイナスに転換した

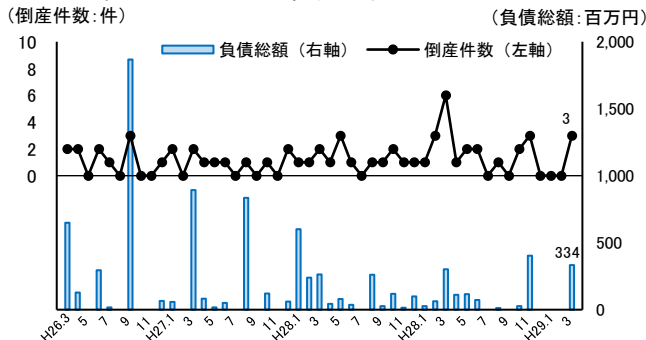


※最新()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)

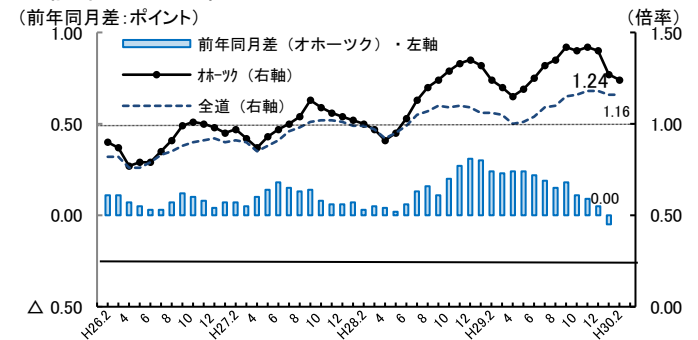
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 14 -

◆有効求人倍率(常用)(2月)

前年と同じ水準だった

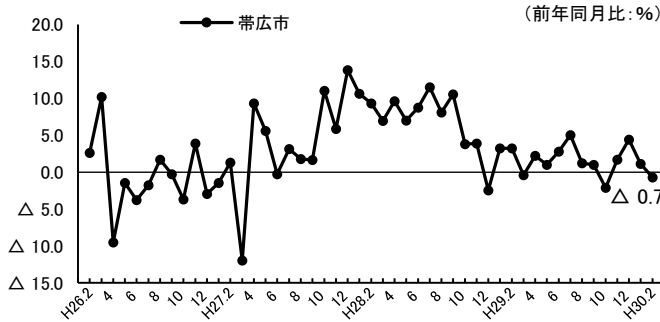


(北海道労働局調べ)

十勝地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(2月)

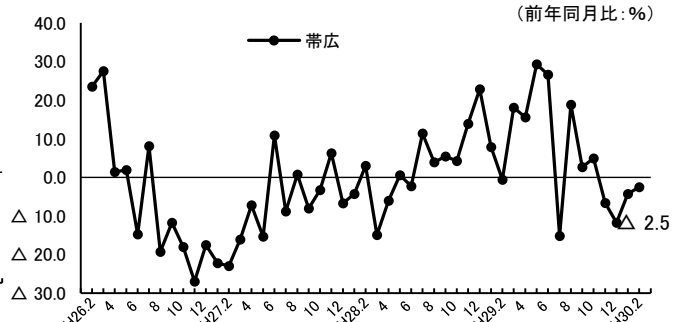
4か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)

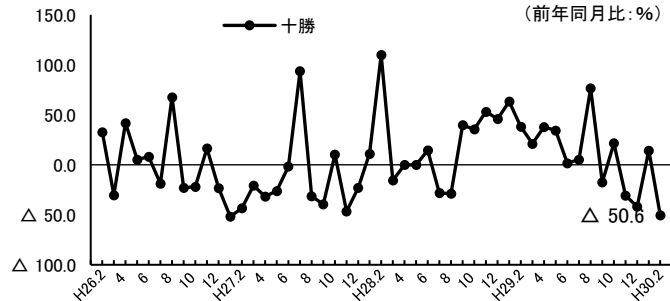
4か月連続で前年を下回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

◆新設住宅着工戸数(2月)

2か月ぶりに前年を下回った

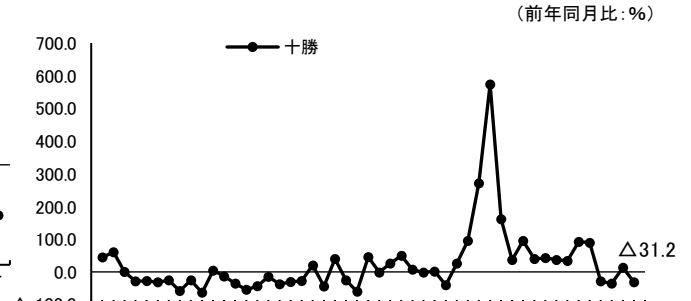


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)

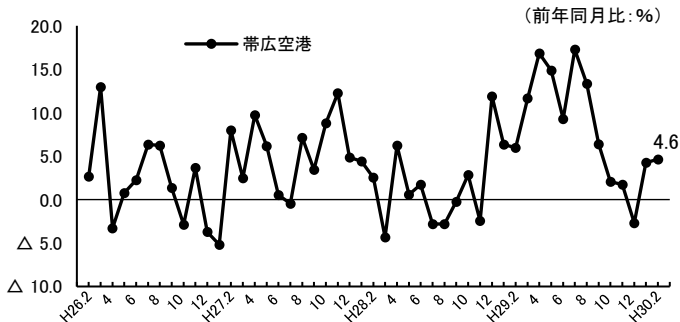
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)

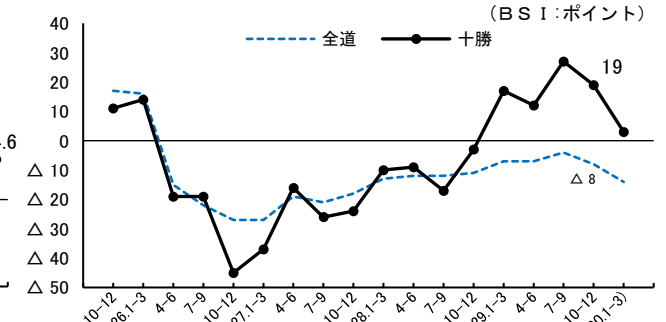
2か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)

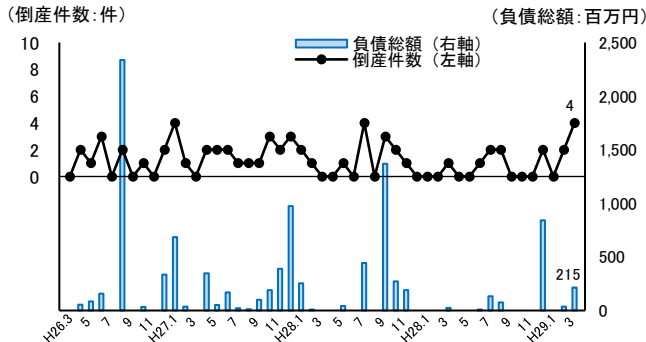
前期からプラス幅が縮小した



(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)

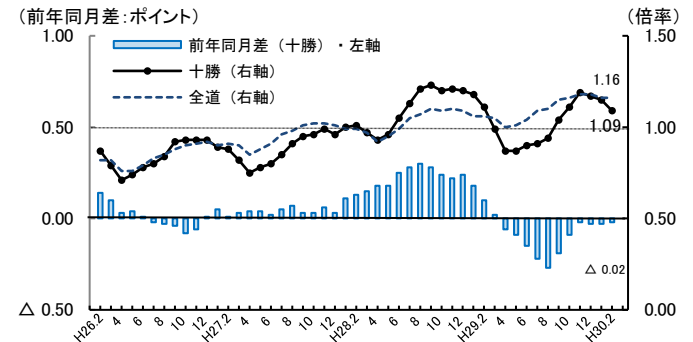
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 15 -

◆有効求人倍率(常用)(2月)

11か月連続で前年を下回った

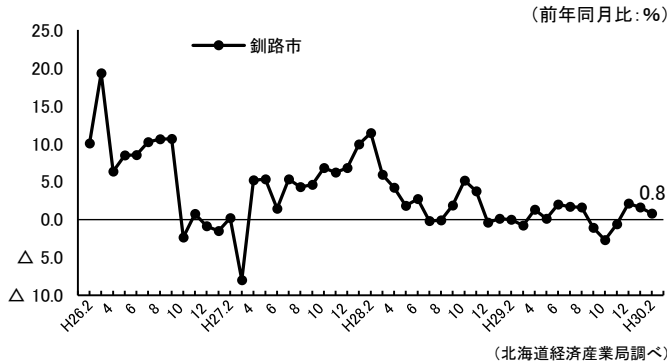


(北海道労働局調べ)

釧路・根室地域

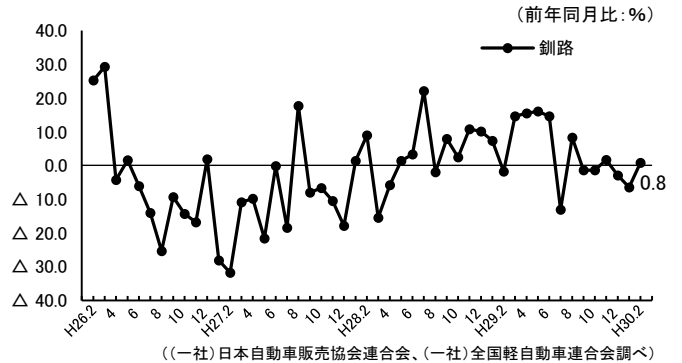
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(2月)

3か月連続で前年を上回った



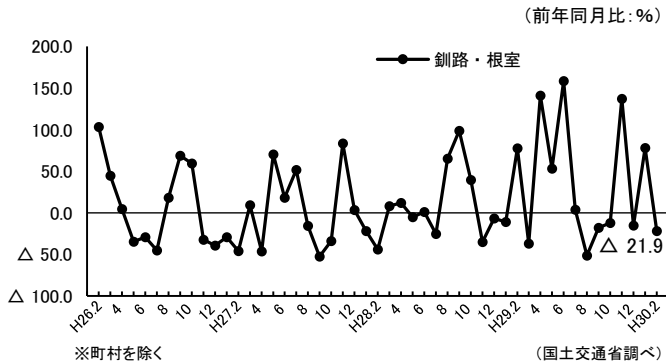
◆新車登録台数(乗用車)(2月)

3か月ぶりに前年を上回った



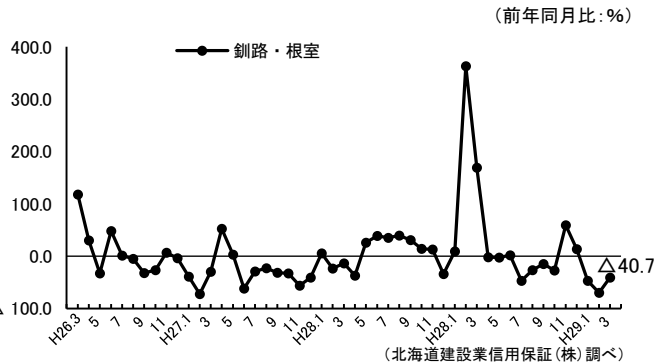
◆新設住宅着工戸数(2月)

2か月ぶりに前年を下回った



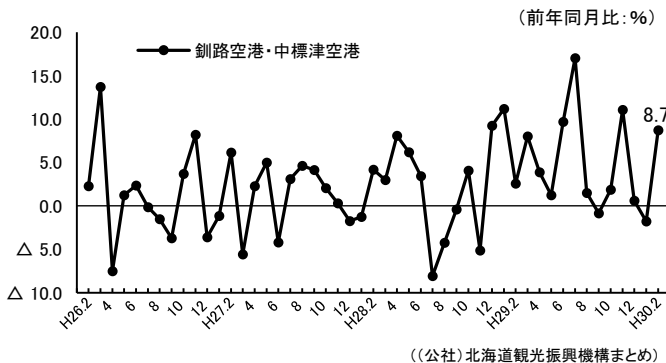
◆公共工事請負金額(3月)

3か月連続で前年を下回った



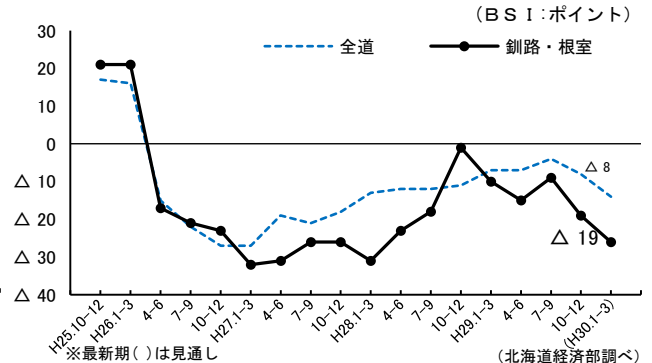
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)

2か月ぶりに前年を上回った



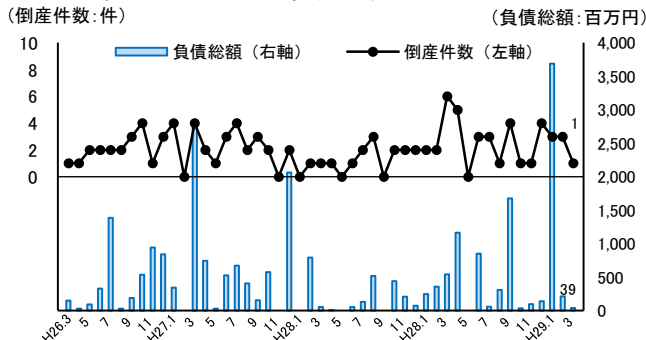
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が拡大した



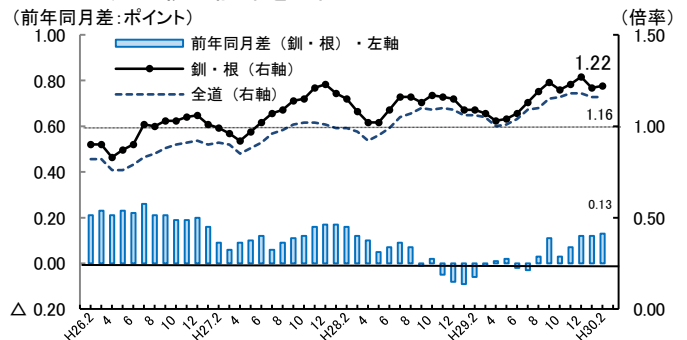
◆企業倒産件数・負債総額(3月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(2月)

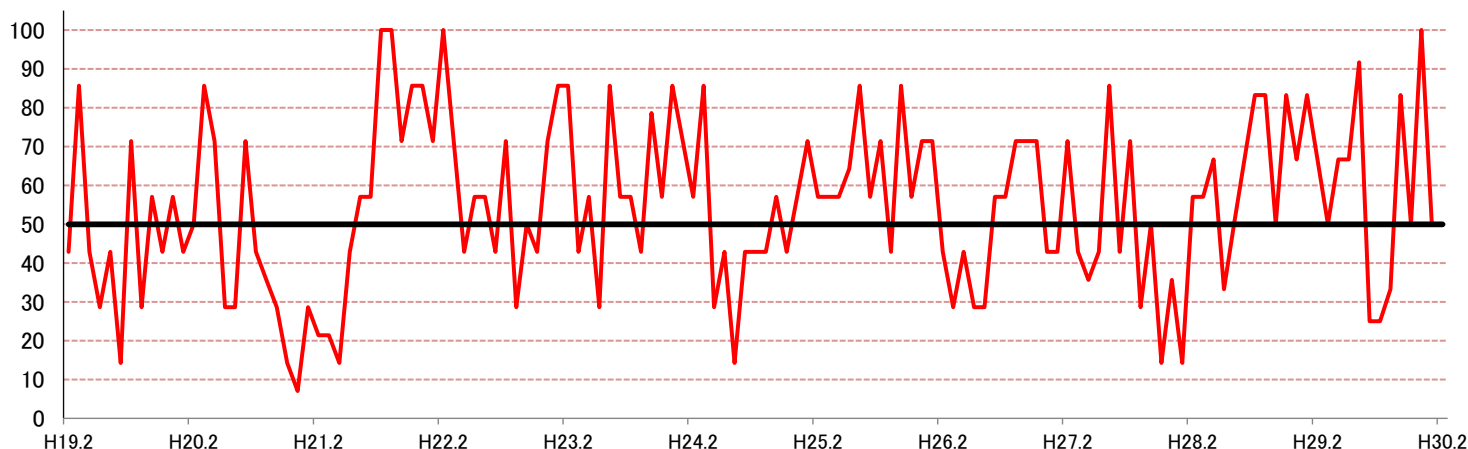
7か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		29/ 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/ 1月	2月
先行系	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	-	0	-	-	-	+	-	-	+	+	+	+
	生産指数(生産財)	-	-	-	+	-	+	+	-	+	+	+	r -	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	-
	新設住宅着工戸数	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	+	-	+
	企業業況判断D.I.	+	+	+	+	+	+	+	+	0	0	0	-	-
	拡張系列数	5	3	4.5	4	3	3	5	4	3.5	4.5	5.5	2	2
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	71.4	42.9	64.3	57.1	42.9	42.9	71.4	57.1	50.0	64.3	78.6	r 28.6	p 28.6
一致系	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	-	-	-	0	0	0	+	+	+	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	r -	p -
	出荷指数(生産財)	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	r -	p -
	百貨店販売額(既存店)	+	+	+	+	+	-	+	-	+	-	+	r -	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	-	-	+	+	-	-	+	+	-	+	r +	p +
	拡張系列数	4	3	4	5	5.5	1.5	1.5	2	5	3	6	3	3
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一致指数	66.7	50.0	66.7	83.3	91.7	25.0	25.0	33.3	83.3	50.0	100.0	r 50.0	p 50.0	
遅行系	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	0	0	0	0	+	+	-	-	-		
	消費者物価指数(総合)	+	+	-	-	+	0	+	-	-	-	+	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	-
	生産指数(資本財)	+	+	+	-	+	-	+	+	-	+	+	r +	p +
	拡張系列数	3	3	2.5	0.5	3.5	2.5	5	4	2	2	2	3	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	3
遅行指数	60.0	60.0	50.0	10.0	70.0	50.0	100.0	80.0	50.0	40.0	50.0	r 75.0	p 66.7	

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成30年4月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>